　年度　小規模グループケア加算申請書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

奈良県知事　殿

　 申請施設名

施設長名

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 本体施設種別 | |  | 本体施設  所在地 | 〒 |
| 種　別  ※該当するものに○を付すこと | | １　本体施設の**敷地内**で行うもの（小規模グループケア）  　２　本体施設の**敷地外**においてグループホームとして行うもの（分園型小規模グループケア）  （分園型の場合のみ）住所： | | |
| 現在の  指定状況 | | 小規模グループケア：　　か所  分園型小規模グループケア：　　か所 | | |
| 【申請内容】   1. 申請定員：　　　人 2. 占有面積：　　　　 ㎡（うち居室面積：　　　　　㎡） 3. 間取り（設置するものに○を付すこと）   **（児童養護施設の場合）**  ・児童の居室、居間、食堂、台所、浴室、トイレ、玄関（専用出入り口）、  その他（　　　　　　　　　　）  ・児童の居室の内訳 (個室： 室、２人部屋：　　室)  **（乳児院の場合）**  ・児童の寝室、ほふく室、浴室、トイレ、玄関（専用出入り口）、  その他（　　　　　　　　　　）  ・児童の居室の内訳 (個室： 室、２人部屋：　　室) | | | | |
| 担当職員 | 専任職員  氏名：　　　　　　　年齢：　　　　資格：児童指導員　or　保育士  管理宿直等職員（非常勤可）  氏名：　　　　　　　年齢：　　　　業務内容： | | | |
| 対象予定の児童について | 対象予定の児童数：　 人  内訳（年齢、性別、現在の状況、保護者の状況等小規模グループケアが必要な子どもである旨を記載すること） | | | |
| その他  ※満たしている項目に○を付すこと | １　保健衛生及び安全について配慮し、家庭的な雰囲気の中で、担当職員が入所している子どもに対して適切な援助及び生活指導ができること。  ２　小規模かつ地域分散化された施設への移行に努めていること。  ３　当該小規模グループケアの位置付けを明確にしていること。  ４　分園型小規模グループケアについては、本体施設の職員等との連携が可能  な場所において実施すること及び地域における近隣関係について、積極的に  良好な関係を築くよう努めること。  ５　職員の相互連携を図るとともに、入所している子どもに説明を行う等、施  設内の他の子どものケアに支障がないよう配慮すること。  ６　奈良県児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例（平成24年12月奈  良県条例第39号）で定める最低基準が遵守されており、かつ、法人及び施設  運営が適正に行われていること。  ７　１本体施設について、小規模グループケアの数は６か所以内であること（  分園型小規模グループケアの指定については、この限りではない。）及び３  か所以上の場合は、児童養護施設等のケア形態の小規模化の推進について（  平成17年３月30日雇児発第0330008号。以下「国要綱」という。）９（３）  の条件を満たしていること。 | | | |
| 備考 |  | | | |

（記入上の注意）

　・この申請書には、小規模グループケア加算を実施する場所を記した施設の平面図を添付すること。

　・一度に複数の小規模グループケア加算を申請する場合は、適宜行を追加すること。